

令和5年度 事業計画（案）

I 基本方針

私たちは、地域資源・精神風土を最大限活かし、南砺全体の持続可能な循環共生型の社会の姿を描き出し「南砺の未来資本」を創りあげ、次世代にバトンタッチしていくことを大切にしています。

未来の南砺を創るための仕組みとして財団の活用を通し、南砺市の地域課題を豊かで特色ある自然資本、人的資本、社会関係資本や人工資本を有機的に活用し、解決を図ります。

市民からの寄付金や遺贈金などを資金として調達し、南砺の新たな暮らし方を創出する次世代を担う若者や女性等の活気溢れる活動等を皆で支援し、人と人をつなぐことで、支え合う地域の力を育てます。

《助成テーマ》

- 1 暮らしを支える事業
- 2 森里川海のつながり保全事業
- 3 生業・起業・ものづくりを支える事業
- 4 地域の食と農業を支える事業
- 5 子ども・若者を支える事業
- 6 再生可能エネルギーを支える事業
- 7 地域の歴史、土徳文化を支える事業

II 重点事業

- 1 相談体制構築・支援事業実施
- 2 情報発信・普及啓発
- 3 調査・研究
- 4 志金調達
- 5 組織基盤強化

III 実施計画

- 1 相談体制構築・支援事業実施
 - (1) 案件組成
 - (2) 新助成プログラム事業の運用
 - ・ソーシャルビジネス枠
 - ・市民活動枠
 - ・チャレンジ枠

- (3) 休眠預金活用事業
- (4) 事業指定寄付プログラムのリニューアル
- (5) 新規助成プログラムの開発

2 情報発信・普及啓発

財団の設立趣旨や運用目的など広く普及啓発を行うことで、市民の理解や参画を促す。

- (1) 寄付者への訪問による財団運用の説明
- (2) 地域づくり協議会・まちづくり団体への説明
- (3) 商工会青年部・となみJCなど各種団体との連携
- (4) ホームページやSNSによる情報発信
- (5) ニュースレター・アニュアルレポートの発行
- (6) 事例等の外部への情報発信
- (7) 活動報告会の開催

3 調査・研究

- (1) ソーシャルインパクトボンド (SIB)
- (2) 目的別ファンド
- (3) 電子地域通貨
- (4) 協調融資・投資
- (5) ふるさと納税との連携

4 志金調達

安定した財団運営を行うために運用資金となる寄付金や遺贈金の調達を行う。

- (1) 企業・各種団体への訪問
- (2) サポーター会員制度の運用
- (3) 事業指定寄付の刷新
- (4) 遺贈の相談窓口に関する勉強会の開催

5 組織基盤強化

財団事務局の事務事業を細分化し業務分担することでの確な財団運営を行う。なんと未来支援センターとの連携により資金、ノウハウ、ネットワークでの支援体制を整える。

- (1) 組織経営・財務運用
- (2) プログラムオフィサーの育成・雇用
- (3) 資金管理、支援事業、組織体制の確実な運用
- (4) なんと未来支援センターとの連携

IV スケジュール

月	項目	備考
4月		
5月	休眠預金事業（2022年度）審査会 2022年度アニュアルレポート 第1回理事会（事業報告・決算）	
6月	定時評議員会 第2回理事会（役員）	
7月	休眠預金事業（2020年度）活動報告会 頑張る人・地域応援事業（第4回、第5回採択）活動報告会 中長期ビジョン発表会 休眠ニュースレターvol.6発行	
8月	新助成事業①公募開始 事業指定寄付プログラム新制度開始 ガバナンス・コンプライアンス研修会	
9月	第3回理事会（新助成事業採択結果承認）	
10月		
11月	新助成事業①審査会	
12月	第4回理事会（新助成事業採択結果承認） 新助成事業②公募開始 ニュースレターvol.7発行	
1月		
2月		
3月	第5回理事会（事業計画・予算） 新助成事業②審査会	

<随時>

- ・運営委員会
- ・コンプライアンス委員会
- ・ファンドレイジング委員会
- ・事務局会議